



# ねんりんピック秋田2017 大会の概要

1. 名 称	第30回 全国健康福祉祭あきた大会
2. 愛 称	ねんりんピック秋田2017
3. 主 催	厚生労働省・秋田県・ 一般財団法人長寿社会開発センター
4. 共 催	スポーツ庁
5. テ ー マ	秋田からつながれ! つらなれ! 長寿の輪
6. 会 期	平成29年9月9日(土)~9月12日(火)
7. 会 場 地	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、 由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、 藤里町、三種町、八峰町、東成瀬村、大潟村
8. シンボルマーク	 <p>老いも若きも仲よく、共に生きていく社会を二人の人物で表しています。 また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。</p>
9. PRキャラクター	 <p>「んだッチ」は、近未来から秋田をPRするためにやって来た、なまはげタイプの子ども型ロボットです。 ねんりんピック秋田2017では、県内外各地に登場して、元気いっぱいに大会を盛り上げていきます。</p> <p>んだッチ</p>

## 10. シンボルカラー



### ブルー

「豊かな命を育む日本海」



### レッド

「魅力あふれる  
数々の伝統行事」



### ゴールド

「米などの実り  
豊かな農作物」



### ホワイト

「厳しくも様々な恵みを  
もたらす白銀の雪」

## 11. 基本方針

我が国は世界でも類をみないスピードで高齢化が進行しており、高齢になっても、健康で生きがいを持ち、様々な形で社会参加できる「はつらつと輝く社会」づくりが求められています。

また、東日本大震災からの復興が進む中、人と人、地域のつながりの重要性も増しています。

第30回全国健康福祉祭あきた大会では、「笑顔」、「絆」、「健康長寿」、「まごころ」をキーワードに掲げ、次の4つを大会の目標とします。

### 大会の目標

#### 1 笑顔がはじける夢ふくらむ大会

大会の主役である高齢者が、笑顔いっぱい楽しみながら活躍し、関わるすべての人が盛り上げることで、あらゆる世代が楽しみ、夢ふくらむ大会とします。

#### 2 世代を超え、地域を超え、絆を結ぶ大会

超高齢社会のフロントランナーである秋田だからこそ、培ってきた知恵や経験を生かし、あらゆる世代の人が交流を深めながら、人と人、地域間の絆を強く結び合わせ、次世代につなげる大会とします。

#### 3 健康長寿の素晴らしさを実感できる大会

秋田県はスポーツ立県を宣言し、県民の健康づくりを推進しています。大会で活躍する高齢者を応援することにより、秋田県のスローガンである「元気にとしよる(年をとる)」を目指し、健康長寿の素晴らしさを実感できる、明るくはつらつとした大会とします。

#### 4 秋田の魅力とまごころあふれる大会

県民総参加のもと、豊かな自然や多彩な伝統文化、食文化を誇る秋田で、全国からの選手や観客の方々を、秋田らしいまごころを込めたおもてなしでお迎えする大会とします。

## 12. 大会実施状況

### 1 大会実行委員会

平成27年7月に県内関係機関及び関係団体等の代表者187人で構成する「ねんりんピック秋田2017実行委員会」を設立し、第1回総会を開催しました。

実行委員会には、常任委員会と「総務・企画」、「式典・事業」、「宿泊・輸送等」の3つの専門委員会及び「音楽」、「献立」の2つの部会、美術展運営委員会を設置し、具体的な検討を重ねてきました。

また、交流大会会場地市町村でも、実行委員会を設立し、交流大会実施に向けた準備を行いました。

### 2 大会運営体制

県では、知事を本部長とする大会実施本部を設置し、延べ1,946人の実施本部員と延べ1,423人のボランティアの協力を得て、大会の運営を行いました。

市町村でも、延べ4,978人の実施本部員と延べ2,118名のボランティアにより26種目の交流大会の運営を行いました。

### 3 事業概要

主催事業として、「総合開会式」、「総合閉会式」、「交流大会（スポーツ、ふれあいスポーツ、文化）」等の43事業を、また、会期中には併催イベントとして、「『心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会』優秀作品展」、「シニアと子どものふれあい教室」の2事業を実施しました。さらに、協賛イベント（会期内）として、「おもしろ科学実験教室」、「人と動物の絆」等の10事業が実施されました。



### 4 大会の特色

#### 総合開会式

- 秋田市内の小学校4校544名の児童が「秋田まごころKIDS」として歓迎するとともに、秋田市内の小学生が作成した応援メッセージカードや横断幕を全国67選手団に手渡しし、選手団と一緒に入場行進を行いました。プラカードは秋田県立秋田北高等学校の生徒が務めました。
- 国旗掲揚では浅野江里子さんが国歌を独唱しました。
- 炬火は、秋田の四季を彩る行事・祭りから「冬」、「春」、「夏」と県内3か所で採火され、「秋」の総合開会式で2組の三世代家族が引き継ぎ、最終ランナーへと集火し、炬火台へ点火しました。
- 「健康長寿“元気にとしよる”あきた宣言」は、選手を代表して秋田県選手団の2名により、高らかに宣言されました。
- メインアトラクションは、【第1章 冬～無彩色のとき～】で豪雪に包まれる真っ白で厳しい秋田の様子を、【第2章 春～芽吹きするとき～】では山、湖、草木など、自然の命が芽生える秋田の「春」のシーン、【第3章 夏～盛りするとき～】では東北三大祭りのひとつで、国の重要無形民俗文化財でもある、江戸時代から



伝承されてきた秋田の夏の風物詩「竿燈祭り」を再現しました。【フィナーレ 秋～実りのとき～】では太鼓が躍動的に鳴り響く中、全出演者が登場し、これからの実り多き未来へとつながっていく感動のフィナーレを繰り広げました。

#### 交流大会

- 県内13市3町1村で、スポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(12種目)、文化交流大会(4種目)の計26種目の交流大会を開催しました。

#### 各種イベント

- 主なイベント会場を秋田市のJR秋田駅周辺「秋田拠点センターアルヴェ」、「秋田駅東西連絡自由通路(ぼぼろード)」、「アグラ広場・秋田駅前買物広場大屋根下」、「秋田県総合生活文化会館(アトリオン)」、「仲小路」、「秋田市にぎわい交流館」、「秋田県立美術館」とし、スタンプラリーの実施など、来場者の利便性を考慮し、楽しく徒歩で周遊できるようなイベント運営を行いました。



#### 総合閉会式

- 式典前アトラクションでは、日本三大盆踊りのひとつ秋田の伝統芸能「西馬音内盆踊り」が披露されました。
- 次期開催地アトラクションでは、「越中五箇山民謡」が披露され、会場から盛大な拍手が送られました。
- メインアトラクションでは、名曲「浜辺の歌」や日本最古の県民歌「秋田県民歌」を作曲した、作曲家・成田為三を主人公としたミュージカルを上演し、フィナーレでは、全ての出演者がステージに登場して、成田為三の「浜辺の歌」を合唱し、会場全体が感動で包まれる中、総合閉会式は終了しました。

## 5 大会の参加実績

### ●選手・監督、役員等参加者数

	選手・監督	役員等	合計
都道府県・政令指定都市からの参加選手・監督、役員等	9,678	681	10,359

### ●実施本部員等の延べ参加者数

		実施本部員	ボランティア	合計
大会の運営	県関係	1,946	1,423	3,369
	市町村関係	4,978	2,118	7,096
	合計	6,924	3,541	10,465

### ●総合開・閉会式の出演・演奏等参加者数

	出演・演奏者等
総合開会式	3,164
総合閉会式	142
合計	3,306

### ●延べ参加者数

	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	合計
総合開会式	18,300				18,300
イベント会場	156,000	180,700	101,000	2,600	440,300
交流大会会場	7,800	33,700	25,300	400	67,200
総合閉会式				1,200	1,200
合計	182,100	214,400	126,300	4,200	527,000